

科目ナンバー： BC2122

授業コード： 2230201200

講義科目名称： 成人看護学Ⅳ

英文科目名称： Adult Health Nursing Ⅳ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎高柳智子、石田和子、石岡幸恵、相澤達也、坂田智佳子、杉山潤			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	後期	15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎高柳 智子	新潟県立看護大学	203	takatomo@niigata-cn.ac.jp
	石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	新潟県立看護大学	310	ishioka@niigata-cn.ac.jp
	相澤 達也	新潟県立看護大学	共同研究室3	aizawa@niigata-cn.ac.jp
	坂田 智佳子	新潟県立看護大学	共同研究室3	sakata@niigata-cn.ac.jp
	杉山 潤	新潟県立看護大学	共同研究室3	junsugi@niigata-cn.ac.jp
実務経験のある教員が担当します。				
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
看護師課程				
【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】	【DP5】
◎	○			

到達目標	1. 手術を受ける成人期にある患者と家族に対する周手術期看護について、科学的根拠をもとに説明できる。 2. 集中治療を受ける成人期にある患者と家族への看護実践に必要な基本的知識を説明できる。			
授業概要	手術治療をはじめとする急激な身体侵襲を受け、急性状況にある人々を総合的に捉え、回復過程に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。器官別に代表的な健康障害を取り上げ、周手術期における看護アプローチを学ぶとともに、集中治療を受ける患者への看護の基本を学ぶ。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 脳・神経系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：脳血管疾患患者の急性期看護 開頭手術を受ける患者の看護 事前学修：臨床病態学Ⅱ脳神経疾患ならびに成人看護学Ⅲ(脳神経疾患患者と家族の看護)を復習しておく 事後学修：脳・神経系患者に対するアセスメントやケアについて、病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考：高柳		
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：消化器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：胃切除術を受ける患者の看護 大腸切除術を受ける患者の看護 事前学修：形態機能学Ⅱ「栄養の消化と吸収（口・咽頭・食道の構造と機能）」、臨床病態学Ⅰ「がん総論」「消化管総論」「消化器疾患（1）胃」「消化器疾患（2）腸」、成人看護学Ⅱ「術前看護」「術後看護」を復習しておく。 事後学修：胃がん、大腸がんならびに切除術を受ける患者に対するアセスメントおよびケアについて、病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。また、授業内容が広範囲であるため、割愛した箇所を自己学修する。 備考：杉山		
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：呼吸器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：肺切除術を受ける患者の看護 事前学修：臨床病態学Ⅲ「呼吸器疾患（6）」、成人看護学Ⅱ「術前看護、術中看護、術後看護」を復習しておく。 事後学修：肺がん患者ならびに開胸術を受ける患者に対するアセスメントやケアについて、病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考：坂田		
	4	授業内容		

	授業形態：講義 学修課題：女性生殖器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：乳房切除術を受ける患者の看護 子宮摘出術を受ける患者の看護 事前学修：「周手術期看護論」p309～p315を読んでおく。形態機能学Ⅱ女性生殖器、臨床病態学Ⅰがん・乳腺疾患、Ⅳ婦人科疾患について復習しておく。 事後学修：乳がん、子宮がん患者に対するアセスメントやケアについて病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。授業中に示す課題を授業内容と関連づけて学修する。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考：石岡 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：心臓および脈管系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：急性冠症候群患者の看護 開心術を受ける患者の看護 事前学修：臨床病態学Ⅱ循環器疾患ならびに成人看護学Ⅲ(慢性心不全患者と家族の看護)を復習しておく 事後学修：急性冠症候群患者ならびに開心術を受ける患者に対するアセスメントやケアについて、病態メカニズムをはじめとする根拠と関連付けてまとめておく。力試しテストは正答だけでなく誤りについても根拠づけて説明できるように復習する。 備考：高柳 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：腎臓および泌尿器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：腎臓・膀胱・前立腺摘出術を受ける患者の看護 事前学修：臨床病態学Ⅰ腎・泌尿器系疾患(4)ならびに成人看護学Ⅱ術前看護・術後看護①②について、復習しておく。 事後学修：授業時に説明する。 備考：石田 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：運動器系の健康障害を持つ患者への周手術期看護 学修内容：人工関節置換術を受ける患者の看護 事前学修：臨床病態学Ⅱ「運動器疾患(2)変形性関節症」について復習しておく。必携図書「周手術期看護論 V章-4 (p186～p195)、V章-6 (p202～p207)、Ⅶ章-7 (p327～p335)」を読んでおく。 事後学修：人工股関節全置換術を受ける患者に特徴的な合併症とその看護について、根拠とともにまとめておく。 備考：相澤 8 授業内容 授業形態：講義 学修課題：集中治療を受ける患者と家族の看護 学修内容：集中治療下での全身管理を必要とする患者および看護の特徴、集中治療下での患者・家族への支援 事前学修：日本集中治療医学会ホームページ内のトピック「PICS 集中治療後症候群」(https://www.jsicm.org/provider/postics.html) にアクセスし、掲載されている動画や記事を確認しておく。 事後学修：集中治療を受ける患者に特徴的な治療（特に人工呼吸療法）や看護について、根拠とともにまとめておく。 備考：相澤
評価方法、評価基準	到達目標 1～2 に対して、筆記試験100%とする。
必携図書	雄西智恵美 秋元典子 編(2020)：成人看護学 周手術期看護論 第3版、ヌーヴェルヒロカワ 中西純子 石川ふみよ 編(2019)：成人看護学 リハビリテーション看護論 第3版、ヌーヴェルヒロカワ(前年度購入済み教科書を使用する)
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業日程や事前準備、試験等に関することはどこかで周知する。授業計画に沿って示された事前学修を行ったうえで受講すること(20分以上の遅刻は欠席扱い)。欠席、追試、再試の各手続は学生便覧に従い遂行する。なお、私語など他の学生の受講に支障となる行為は厳禁とする。
教員からのメッセージ	患者を全人的にとらえる視点、病態・治療をふまえた看護を理解する上で、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや、形態機能学・臨床栄養学・臨床生化学・臨床薬理学・臨床病態学、感染学等の既修の知識が役立つ。これらと関連付けながら授業に臨んでいただきたい。この科目で学修する知識を演習や実習での看護実践に活用できるよう、必携図書ならびに関連文献を積極的に読み、さらに理解を深めることを期待する。
オフィスアワー	事前に連絡要(メールも可)